平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月26日

上場会社名　三菱製鋼株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5632　URL　http://www.mitsubishisteel.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 大野信道
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 菊地孝太郎　TEL 03-3536-3135

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	29,415	△9.1	1,479	△41.0	1,283	△46.6	629	△37.4
24年3月期第1四半期	32,361	13.6	2,508	79.6	2,401	73.4	1,006	59.5

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　△172百万円　(―%)　24年3月期第1四半期　1,049百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	4.09	―
24年3月期第1四半期	6.53	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	113,568	55,896	43.8
24年3月期	119,911	56,532	42.1

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　49,766百万円　24年3月期　50,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	1.50	―	3.00	4.50
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		2.00	―	2.50	4.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	60,000	△7.7	3,000	△40.0	2,900	△32.1	1,500	20.5	9.74
通期	120,000	△9.7	6,800	△38.7	6,500	△39.7	3,400	7.2	22.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	156,556,683 株	24年3月期	156,556,683 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	2,516,512 株	24年3月期	2,516,353 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	154,040,236 株	24年3月期1Q	154,047,330 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
なお、本予想に関する事項は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報……2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 ……2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 ……2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 ……2

2. サマリー情報（その他）に関する事項……3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3

3. 四半期連結財務諸表 ……4
(1) 四半期連結貸借対照表 ……4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
(3) 継続企業の前提に関する注記 ……8
(4) セグメント情報等 ……8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8

１.当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（平成24年４月～平成24年６月）における当社グループを取りまく経営環境は、主要な需要先である自動車業界の需要は好調に推移したものの、建設機械業界の需要が中国関連の落ち込みにより大幅減となったことから非常に厳しい状況が続きました。
このような状況下、当第１四半期連結累計期間の売上高は、建設機械業界向けの特殊鋼鋼材事業の売上減により、前年同期比△9.1%、29億４千６百万円減収の294億１千５百万円となりました。経常利益は、ばね事業では北米子会社の赤字幅が縮小しましたが、特殊鋼鋼材事業では原料価格がピーク時に比べ下がりつつあるものの、未だ高値水準に留まる環境下、国内需要が減少したことにより、前年同期比△46.6%、11億１千８百万円減益の12億８千３百万円となりました。また、当第１四半期純利益は、前年同期比△37.4%、３億７千６百万円減益の６億２千９百万円となりました。
セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[特殊鋼鋼材事業]
売上高は、主要顧客である建設機械の中国需要減を受けたことと、円高の影響で輸出が低迷したことにより、前年同期比△17.2%、27億９千７百万円減収の134億５千２百万円となりました。経常利益は、コストダウンに努めましたが、原料価格は下がりつつあるものの高値水準であることと、国内需要が減少したことにより、前年同期比△69.7%、11億５千５百万円減益の５億２百万円となりました。

[ばね事業]
売上高は、国内自動車生産がエコカー補助金効果により堅調に推移したため、前年同期比14.6%、14億２千２百万円増収の111億３千７百万円となりました。経常利益は、売上増及び北米子会社の赤字幅縮小により、前年同期比５億５千４百万円増益の３億３千５百万円となりました。

[素形材事業]
売上高は、鉱山用建設機械部品の需要増があったものの、ターボチャージャー部品の売上減により、前年同期比△6.1%、１億９千６百万円減収の30億１千９百万円となりました。経常利益は、売上げの減少等により、前年同期比△24.0%、９千６百万円減益の３億４百万円となりました。

[機器装置事業]
売上高は、鉄構品・機械品とも受注が低調に推移し、前年同期比△28.8%、10億２千８百万円減収の25億４千万円となりました。経常利益は、売上げの減少、円高等の影響により、前年同期比△76.4%、２億５千２百万円減益の７千７百万円となりました。

[その他の事業]
流通及びサービス業等でありますが、売上高は前年同期比△7.9%、７千５百万円減収の８億８千万円、経常利益は前年同期比△25.7%、１千４百万円減益の４千３百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は1,135億６千８百万円となり、前連結会計年度末に比べ63億４千３百万円減少しました。主な要因は、売上債権の減少、有価証券（譲渡性預金）の減少、投資有価証券の減少等であります。当第１四半期連結会計期間末の負債合計は576億７千万円となり、前連結会計年度末に比べ57億８百万円減少しました。主な要因は仕入債務の減少、未払法人税等の減少等であります。当第１四半期連結会計期間末の純資産は558億９千８百万円となり、前連結会計年度末に比べ６億３千４百万円減少しました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少等であります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の連結業績予想につきましては、平成24年５月９日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当する事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当する事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第１四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,686	8,611
受取手形及び売掛金	29,189	26,988
有価証券	17,200	15,600
商品及び製品	7,008	7,065
仕掛品	4,026	4,209
原材料及び貯蔵品	2,784	2,809
その他	4,037	3,662
貸倒引当金	△16	△14
流動資産合計	73,916	68,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,375	10,184
機械装置及び運搬具（純額）	9,026	8,705
リース資産（純額）	671	644
その他（純額）	7,113	7,482
有形固定資産合計	27,187	27,016
無形固定資産		
のれん	1,736	1,645
その他	991	1,042
無形固定資産合計	2,727	2,687
投資その他の資産		
投資有価証券	13,449	12,339
その他	2,669	2,633
貸倒引当金	△40	△39
投資その他の資産合計	16,079	14,933
固定資産合計	45,995	44,637
資産合計	119,911	113,568

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,715	18,252
短期借入金	8,096	8,069
リース債務	145	146
未払法人税等	2,727	359
その他	6,344	5,365
流動負債合計	37,030	32,193
固定負債		
長期借入金	17,049	16,718
リース債務	495	458
退職給付引当金	6,618	6,518
役員退職慰労引当金	90	92
負ののれん	177	167
その他	1,918	1,521
固定負債合計	26,348	25,476
負債合計	63,379	57,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,924	9,924
資本剰余金	3,605	3,605
利益剰余金	36,589	36,756
自己株式	△1,068	△1,068
株主資本合計	49,050	49,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,723	1,994
為替換算調整勘定	△1,345	△1,446
その他の包括利益累計額合計	1,377	548
少数株主持分	6,104	6,131
純資産合計	56,532	55,898
負債純資産合計	119,911	113,568

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
売上高	32,361	29,415
売上原価	26,912	25,087
売上総利益	5,449	4,327
販売費及び一般管理費	2,941	2,848
営業利益	2,508	1,479
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	76	77
その他	119	49
営業外収益合計	200	133
営業外費用		
支払利息	84	95
為替差損	155	186
持分法による投資損失	0	－
その他	66	47
営業外費用合計	307	329
経常利益	2,401	1,283
特別利益		
固定資産処分益	－	27
特別利益合計	－	27
特別損失		
投資有価証券評価損	56	－
特別損失合計	56	－
税金等調整前四半期純利益	2,344	1,310
法人税、住民税及び事業税	644	272
法人税等調整額	382	349
法人税等合計	1,027	621
少数株主損益調整前四半期純利益	1,317	689
少数株主利益	311	59
四半期純利益	1,006	629

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,317	689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△263	△728
為替換算調整勘定	△5	△132
その他の包括利益合計	△268	△861
四半期包括利益	1,049	△172
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	752	△199
少数株主に係る四半期包括利益	296	27

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）　（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	特殊鋼鋼材	ばね	素形材	機器装置	（注 1）		（注 2）	（注 3）
売上高								
外部顧客への売上高	15,594	9,712	3,114	3,566	444	32,432	△ 70	32,361
セグメント間の内部売上高又は振替高	655	2	100	2	512	1,273	△ 1,273	－
計	16,250	9,715	3,215	3,568	956	33,705	△ 1,344	32,361
セグメント利益又は損失(△)	1,657	△ 219	400	330	58	2,226	174	2,401

（注）1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

2.売上高の調整額△70百万円は、決算期の異なる海外子会社の決算期間差調整額18百万円及び内部取引の調整額△88百万円であります。

セグメント利益又は損失（△）の調整額174百万円は、各セグメントに配分していない全社損益予算差7百万円、決算期の異なる海外子会社の決算期間差調整額114百万円、のれん及び負ののれんの償却額△82百万円及び棚卸資産未実現利益額等134百万円であります。

全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び受取配当金であります。

3.セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）　（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	特殊鋼鋼材	ばね	素形材	機器装置	（注 1）		（注 2）	（注 3）
売上高								
外部顧客への売上高	12,452	11,137	2,951	2,518	447	29,507	△ 92	29,415
セグメント間の内部売上高又は振替高	999	－	67	22	433	1,523	△ 1,523	－
計	13,452	11,137	3,019	2,540	880	31,030	△ 1,615	29,415
セグメント利益	502	335	304	77	43	1,263	19	1,283

（注）1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

2.売上高の調整額△92百万円は、決算期の異なる海外子会社の決算期間差調整額△67百万円及び内部取引の調整額△24百万円であります。

セグメント利益の調整額19百万円は、各セグメントに配分していない全社損益予算差3百万円、決算期の異なる海外子会社の決算期間差調整額51百万円、のれん及び負ののれんの償却額△82百万円及び棚卸資産未実現利益額等47百万円であります。

全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び受取配当金であります。

3.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによるセグメント損益への影響は軽微であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。